

松 風

福島県公立学校退職校長会

新会長あいさつ…………… 1
 評議員会報告…………… 2
 論壇、令和5年度重点事項、他…………… 3
 令和5年度役員名簿、他…………… 4

〒960-8107 福島市浜田町4-16 富士ビル2階
 TEL (024) 534-5411
 FAX (024) 531-1195

新会長あいさつ

「設立の目的を共有し、 いっそう魅力ある会へ」



福島県公立学校退職校長会

会長 福 士 寛 樹

山々の新緑が目に見える
 よい季節になりました。皆
 様には、ますますご健勝の
 こととお喜び申し上げます。

さる四月二十六日、福島
 市吾妻学習センターで行わ
 れました令和五年度福島県
 公立学校退職校長会評議員
 会におきまして、皆様から
 推戴いただき会長に選任さ
 れました。素晴らしい先輩
 方が数多くいらっしゃる中
 で、私のようなものが、こ
 のような大役を仰せつか
 り、身の引き締まる思いで
 いっぱいです。もとより浅
 学非才で微力ではありますが
 が、県内十六支部の皆様方
 のご支援・ご指導を賜り、
 これまでの事務局員として
 の経験を活かしながら精一
 杯努めてまいり所存ですの
 で、どうぞよろしくお願

いたします。

四年間にわたり会長職を
 お務めいただき、コロナ禍
 の大変厳しい中、私たちが
 導いてくださいました佐藤
 俊市郎先生にこの場をお借
 りして心より敬意と感謝を
 申し上げます。

さて、本会は創立五十八
 年を迎え、会員約二千五百
 名の組織です。その目的は、
 会則にありますように「会
 員相互の旧交と生活の向
 上」と「本県及び我が国の
 教育の振興に寄与」するこ
 とです。この創設の目的を
 皆様方と共有し、本会が抱
 える課題を一つ一つ丁寧に
 解決していこうと思えます。
 まず、会員数の減少に関
 する課題、これは定年延長
 に関わる問題とリンクさせ
 て対応していかなければな

らない問題です。私たち会
 員にも、現役の校長先生方
 にも心に響き、目に映るよ
 うこれまで以上に魅力ある
 会づくりと充実した活動が
 求められています。そのた
 めにもコロナ禍や急速なI
 CT化などにより負担の大
 きい学校への支援に努め、
 要望活動のさらなる充実や
 本県の未来を担う子どもた
 ちのために組織を挙げて協
 力していくことが大切だと
 考えています。

私を含め、会員一人一人
 がそれぞれのお立場で本会
 の大きな活動の柱となる本
 県の教育の振興のため、地
 域社会に貢献できる活動を
 地道に続けていくこと、ま
 た、現役の校長先生方との
 懇談を通して学校現場の課
 題を共有し、要望書に適切
 に反映させ関係機関等へお
 伝えし、着実に成果を上げ
 ていくことなどを通して会
 としての存在価値を一層高
 め、魅力ある会にしていま
 ことが肝要だと考えていま
 す。さらに、DX・デジタ
 ル化を一層推進し、タイム
 リーに各支部間の連携・情
 報共有、各支部と県事務
 局、そして全国、東北、関

係機関等との連携を一層強
 化し、本会の活動の幅を広
 げていくことも大切なこと
 だと思えます。

今年度は、実に四年ぶり
 に県大会を例年どおりに郡
 山市で実施します。皆様と
 旧交を深め、各支部との交
 流ができますことを楽しみに
 しています。郡山支部の
 皆さんどうぞよろしくお願
 いたします。また、今か
 ら十二年前の東日本大震災
 でいただいた多くのご厚情
 の恩返しとして、大地震で
 被災したトルコに対し、義
 援金をお送りすることとい
 ました。義援金は、トル
 コ大使館に直接お届けし
 たいと思います。

令和六年度は東北地区退
 職校長会協議会が節目の五
 十回を迎え、本県での開催
 の予定です。また、令和七
 年度は本会の創立六十周年
 を迎えます。これらについ
 ても本年度より計画的に準
 備をしてまいります。
 結びに、会員の皆様のご
 健勝とご活躍をご祈念申し
 上げますとともに、引き続き
 き、ご支援、ご鞭撻を重ね
 てお願い申し上げます。就任の
 挨拶とさせていただきます。

令和五年度 評議員会報告

第五十七回県大会郡山大会は例年通り開催

福島県公立学校退職校長会ホームページの充実

福島県公立学校退職校長会創立六十周年の準備

令和五年度評議員会は、令和五年四月二十六日(水)、福島市吾妻学習センターで開催された。会は、物故者の黙とうの後開始された。

一 会長あいさつ

二 報告

○令和四年度事業報告

○令和四年度会計決算報告 (本頁左の通り)

○令和四年度ぬくもり基金決算報告 (二頁下欄の通り)

○慶弔関係

・令和四年高齢者叙勲五十八名(前年比十名増)

・令和四年度物故会員八十九名(前年度比十七名減)

○福島県公立学校退職校長会ホームページ

・令和四年八月一日開設

○新入会員入会勧誘予定者数

・小学校六十三名・中学校四十七名・高等学校十五名・特別支援学校五名、計百三十名(前年度比九名増)

○新入会員の勧誘並びに事務手続きの確認

○新型コロナウイルス感染症にかかるガイドライン(当面継続)

○令和六年度第五十回東北地区退職校長会協議会福島大会

・県事務局で立案

○創立六十周年記念事業

・令和七年度に六十周年記念誌を作成

三 協議

協議のうえ、下記の項目は原案のとおり承認された。

○令和五年度活動の重点目標(案)

(重点目標は三頁参照)

○福島県公立学校退職校長会ビジョン(案)

○福島県公立学校退職校長会デジタル化将来ビジョン(案)

○令和五年度事業計画(案)

○令和五年度予算編成の方針(案)、会計予算(案)(予算は本頁左の通り)

○ぬくもり基金の活用(案)

・デジタル機器活用のための消耗品(機器設備は除く)等の各支部への支援(三千五百円)

○令和五年度要望活動(案)

○令和五年度教育懇談会開催要項(案)

○第五十七回福島県公立学校退職校長会郡山大会

・予定通り実施

(詳細は「松風」第一八七号六頁参照)

○役員改選

・佐藤俊市郎会長が退任、

福士寛樹事務局長が新たに会長に就任

(詳細は四頁参照)

四 事務連絡

○令和五年度「寿詞・賀寿・賀詞」該当会員名簿、令和五年高齢者叙勲該当者

○令和五年度「支部事務の手引き」

○令和六年度「寿詞・賀寿・賀詞」該当者調査

○トルコ大地震への義援金



評議員会の様子

令和4年度会計決算報告

収入総額	4,306,815円
内訳	
・会費	3,660,800円
・雑収入	80,012円
・繰越金	566,003円
支出総額	3,456,773円
内訳	
・会議費	325,320円
・事務費	469,463円
・事業費	1,356,550円
・会費・負担金	1,021,440円
・積立金	280,000円
・予備費	4,000円
差引残額	850,042円

※差引残額は次年度への繰越金とする。

令和5年度会計予算書

収入総額	4,551,042円
内訳	
・会費	3,621,000円
・雑収入	80,000円
・繰越金	850,042円
支出総額	4,551,042円
内訳	
・会議費	621,000円
・事務費	493,000円
・事業費	2,021,000円
・会費・負担金	1,030,000円
・積立金	150,000円
・予備費	236,042円
差引残額	0円

今、少子高齢化が全国的に進んでいます。とりわけ少子化が学校教育現場に影響を及ぼしているのはご存じの通りです。県内では、毎年県立高校をはじめ小学校や中学校の統廃合が進められています。私の住む地域として例外ではないです。市の教育振興基本計画に基づき学校の適正規模・適正配置事業が進められています。

論壇

『共育ち』への支援

副会長 飯沼 信一



『共育ち』と『一人生え』に例えながら地域の皆さんに理解をいただきたいそうです。作物の種を蒔く時、ある程度密集させ直蒔きすると間引きが必要になるが、『共育ち』と言って苗同士が触れることでより互いに刺激し合いグングン育ち、その反対に『一人生え』でライバルがない苗は、生長も遅く頼りないそうです。多くの子ども達と学ぶ

といいます。野菜の『共育ち』と『一人生え』は、恥づかしい話ですが、初めて聞く言葉でした。確かに我が家の一坪農園の直蒔きほうれん草は、今しっかりと育っています。今更ながら『共育ち』の大切さを再認識しました。

昨年度、私の住む地域の小学校に隣の地区の小学校が統合されました。統合で閉校となった地区の代表を務めるAさんから苦労話を聞きました。地域から学校がなくなることへの何ともしがたい思いがひしひしと伝わってきました。子どもの数の減少という現実から、地域の代表として、消極的ながらも統合の話を進めなければならなかったようです。そんな時に野菜の

ことで『共育ち』ができ、たくましく成長できるチャンスが多くなります。可能性を持つ子ども達のためには、隣の小学校への統合もやむを得ないのでご理解をいただきたいと説いたそうです。更には、子ども達の通学支援、母校がなくなる住民感情等々の課題もあります。しかし、将来の子ども達のためというところで基本的には理解いただいた

論され始めました。その効果は随分と先の話です。かつて学校教育に携わり、今地域に住む一人として、できることはなにかと思えます。少子化を止める貢献は難しいが、せめて子ども達の共育ちへの支援はできないかかと思えます。押しつけボランティアにならない貢献が何かできたらと思っています。

令和五年度
重点目標

次の項目が本年度の重点目標として承認された。

- 本会が抱える諸課題の解決に向けた活動を強化する。
- 本会の将来ビジョンの具現
- 会員減少と会員の高齢化への対応
- 県事務局ホームページの充実とデジタル化（DX）の一層の推進
- 学校及び現役校長及び教育委員会等に対する支援の充実
- 社会貢献活動等の奨励と機会の拡充
- 県教委・福島大学等との連携による教員の魅力発信
- 要望活動の充実
- トルコ大地震に対する義援金
- 創立六十周年記念事業準備
- 第五十回東北協議会福島大会の準備
- 県小・中学校長会及び高等学校長協会、県教育員

令和4年度ぬくもり基金決算報告

収入総額	910,911円
内訳	
繰越金	910,903円
利息	8円
支出総額	0円
差引残額	910,911円

会からの要望などに応えらるとともに、支部間の連絡調整を強化し、学校等への支援などの社会貢献活動等の充実と拡大を図る。

○「双葉の灯を消さない」よう、被災・避難された支部・会員への支援活動を継続し、東日本震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の被災体験を風化させない活動を継続する。

○新型コロナウイルス感染拡大防止のためガイドラインに基づき、新しい生活様式を取り入れた本会運営を徹底する。

● 令和五年度県大会は郡山で実施する。

令和5年度 福島県公立学校退職校長会役員名簿

(令和5年5月19日現在) (敬称略)

Table with columns for roles (顧問, 会長, 副会長, 監事, 評議員, 理事) and names of members.

《新役員紹介》

会長のほか、副会長三名、監事二名が新たに役員に選出された。(敬称略)

◇副会長



鈴木 昭雄 (県北)



工藤 博 (県中南)



齋藤 秀一 (会津)



栗林 正樹 (県中南)



菅井 一良 (会津)

◇監事

令和4年度 理事会報告

令和五年三月八日(水)、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、令和4年度の理事会が福島市吾妻学習センターで開催され、報告事項、協議事項とも了承された。

◇主な報告事項

- 令和4年度事業報告、令和4年度会計決算中間報告、令和4年度ぬくもり基金中間報告・ぬくもり基金の活用、令和4年度新入会員及び会員数、慶弔関係、県退職校長会ホームページ、新入会員の勧誘並びに事務手続きの確認、第五十回東北地区退職校長会協議会福島大会、県退職校長会創立六十周年記念行事

◇主な協議事項

- 令和5年度活動の重点目標案、令和5年度事業計画案、令和5年度予算編成の方針案、令和5年度会計予算案、県退職校長会運営ビジョン案、県退職校長会デジタル化将来ビジョン案、第五十七回県退職校長会郡山大会

令和5年度要望活動案、令和5年度教育懇談会開催要項案

◇連絡事項

令和5年度「寿詞・賀寿・賀詞」該当会員名簿、令和5年高齢者叙勲該当会員名簿



理事会の様子

編集後記

コロナ禍のため参集できなかった郡山で開催されます。県事務局では、当日参加できない人にもネット配信による視聴ができるよう準備を進めているところです。なお、五月八日から、新型コロナウイルス感染症の扱いが五類に移行しましたが、これからの十分留意して過ごしたいものです。